

平成 28 年度春季岡山県高等学校軟式野球大会 備中地区予選代表決定戦

2016 年 4 月 17 日 V S 倉敷工業高校 @なりわ運動公園野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢掛	3	0	1	0	1	0	0	0	0	5
倉工	0	0	1	0	0	0	0	0	×	1

矢掛高校の先発は、昨日好リリーフを見せた 2 年生右腕の三澤魁太（真備中）。

- 1 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の林（真備東中）が四球で出塁をする。続く竹井（美星中）の内野安打により無死一・二塁となる。さらに山木（美星中）が四球で出塁し無死満塁と初回から大きなチャンスを作る。何としても先制点が欲しい場面で、四番：三澤大地（真備東中）が右中間に走者一掃の 3 点三塁打を打ち先制。後続は凡退するが、3 点を先制し幸先良い立ち上がりとなる。
- 1 回裏、倉敷工業高校の攻撃。三澤魁太の好投により三者凡退に抑える。
- 3 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の竹井が中前打を打ち出塁を決める。続く山木の犠打により一死二塁。次の三澤大地は四球で出塁。竹井は捕逸により三塁へ進み、一死一・三塁。ここで福尾（井原中）の内野ゴロが野選となり、1 点を追加。続く多賀尚（矢掛中）の犠打により二死二・三塁のチャンスを作るも、この回 1 点止まり。
- 3 回裏、倉敷工業高校の攻撃。先頭に四球で出塁され、連続犠打により二死三塁となる。ここで次打者に左前打を放たれ、この回 1 点を許してしまう。
- 4 回表、矢掛高校の攻撃。二死から林が左翼線二塁打を放つが、後続が続かない。
- 5 回表、矢掛高校の攻撃。一死から三澤大地が中前打を打ち出塁。二死から、多賀尚が中越三塁打を打ち、1 点を追加する。ここで倉敷工業高校の投手が交代。相手の好投により、三振でチェンジ。しかし、矢掛高校はこの回 1 点を追加し、リードを広げる。
- 5 回裏、倉敷工業高校の攻撃。一死から中前打を放たれ出塁を許してしまうも、遊ゴロ併殺で切り抜ける。
- 6 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の山崎（高屋中）が中前打を打ち、盗塁も成功させる。しかし、後続が倒れる。
- 7 回裏、倉敷工業高校の攻撃。一死から相手四番に特大の左越二塁打を放たれるが、追加点を与えない。
- 8 回裏、倉敷工業高校の攻撃。一死から四球で出塁を許してしまう。次打者を三振にとり二死一塁とするが、続く打者が中前打を打ち二死一・三塁のピンチ。だがここは、三澤魁太が踏ん張り、この回無失点。
- 9 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の代打：山室（美星中）は三振となり一死。その後の打者も相手の投手に抑えられ、9 回の攻撃を終える。
- 9 回裏、倉敷工業高校の攻撃。一死から連続四死球で一死一・二塁とされる。次打者の遊ゴロで二死一・三塁。最後は三澤魁太が一ゴロに抑え、先制打を放った三澤大地が一塁を踏み試合終了。

矢掛高校は三年連続の春季県大会出場を決めた。

矢掛高校は倉敷工業高校に 5 - 1 で勝利を収めた。この調子そのまま県大会に向けて残りの練習を一生懸命に取り組んでほしい。今日の試合はお互いが助け合い、みんなで繋げて点を取り、勝つことができたと思う。保護者様もお忙しい中応援に来てくださり有難うございました。県大会でも矢掛高校軟式野球部をどうぞよろしくおねがいします。
(文責:馬越 夢亜)

新チームの戦績 8 勝 6 敗 2 分け